

## 書 評・Book Review

魚類学雑誌  
40(2): 279, 1993

**The Rockpool Fishes of New Zealand.**—Chris D. Paulin and Clive D. Roberts. 1992. Museum of New Zealand, Wellington, New Zealand. xii + 177 pp., 32 pls. ISBN 0-908953-01-1. US\$ 38.00 (postage included).

ニュージーランドは日本と同じような島国であるが、海の様相はかなり異なる。北島の北端でも水温は約20度で、全体として日本よりかなり冷たい海である。したがって、サンゴ礁は発達せず、沿岸性魚類は温帯種と寒帯種から構成されている。また、魚種の数も少なく、ニュージーランドの全海域で約1000種を数えるに過ぎない。ニュージーランドの魚類の全体像については、本書の著者達が1989年に *New Zealand Fish, a Complete Guide* という本を出している。しかし、そこで取り扱われた内容は、それぞれの科の特徴と科内の種に対する検索表に過ぎなかった。

本書にはニュージーランドの岩礁の潮間帯と潮下帯に生息する83種の魚類が収録されている。最初の19ページで、学名の説明、同定の方法、標本の固定方法、標本写真の撮影方法、ニュージーランドの魚類の研究史、沿岸の環境の説明、動物地理などについて述べている。次の16ページに種の検索表が図入りで示されている。検

索表は科ごとに分けられているが、科も種名もニュージーランドの通俗名(英名)で示されているため、いささか戸惑うことになる(科については学名も示されている)。種の学名が示されていないのでニュージーランドの魚類に馴染みのない人間にとっては、使い勝手はよくない。図のできはよい。

それぞれの種の説明の部分では、学名、通俗名(英名とマオリ名)、生態、形態、分布が簡潔に示され、魚体全体の図と分布図もあるのでわかりやすい。また、カラー写真も付けられているので、各種の生時の色彩も明瞭にわかる。本書によるとニュージーランドの岩礁にはハゼ類が2種しか分布していない。また、イソギンポ科も1種しか分布していない。日本と比較すると驚くべき少なさである。これに対して、ウバウオ科は7種、ヘビギンポ科は19種が分布している。ニュージーランドの磯はヘビギンポ科がハゼ類を圧倒しているのである。

本書はニュージーランドの岩礁性魚類を把握するのに適切な本である。カラー写真によって日本の類似種との比較をすると意外な発見もある。扱われている魚類の大半はニュージーランドおよびその周辺に固有の種であるが、沿岸性魚類に関心のある会員には購入をお勧めする。

(松浦啓一 Keiichi Matsuura)

## 図 書 紹 介 ・ New Publications

魚類学雑誌  
40(2): 279-282, 1993

## □ 魚類相

**Ictiofauna del Canal Beagle (Tierra del Fuego), aspectos ecológicos y análisis biogeográfico.**—D. Lloris y J. Rucabado. 1991. Publ. Espec. Inst. Esp. Oceanogr., (8): 1-182. ISBN 84-7479-896-5. ビーグル海峡アルゼンチン側の魚類相の研究。22科33属49種におよぶ沿岸域から150m深に生息する魚類の記載に正確な全形図が付されている。(IN)

**漁業生物図鑑 北のさかなたち。**—長澤和也・鳥澤 雅(編)。1991。(株)北日本海洋センター、北海道。x+123 pp. ¥4,800(税込)。北海道周辺の海の魚介類の解説書。水産重要魚種の形態、生態、漁業、利用・加工について詳しい説明があり、カラー写真も付けられている。各種の図のできばえもよく、北の魚に関心のある人にとっては格好の解説書。(KM)

**イラスト集 北のさかなたち。**—鳥澤 雅・前田圭司(編)。1993。(株)北日本海洋センター、北海道。x+123 pp. ¥1,900(税込)。『北のさかなたち』の姉妹編ともいえる本。魚を中心に貝や甲殻類も収録し、書名が